

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
Dojima Grand Bldg., 1-5-17
Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
PHONE (06)344-1717

SEPTEMBER, 1986.IV - 3



1986~1987 THEME

「行動の伴った議論を！」— Deeds Not Words Shall Speak — IP
「心を一つにチャレンヂ」— For One And For All Through The Y'S Dom—RD
「明日に向けて力強く前進しよう」— Onward Tomorrow—DG
「Y'S Men! Be Romantic」— P

Thought for the Month

To conclude ; you must all have the same attitude and the same feelings ; love one another as brothers, and be kind and humble with one another.
(1 PETER 3 : 8)

最後に言う。あなたがたは皆、心をひとつにし、同情し合い、兄弟愛をもち、あわれみ深くあり、謙虚でありなさい。

(ペテロの第一の手紙 第3章8節)

今月のことば

設立満4周年を迎えて

会長 森 庄 司

私達の大阪センテニアルクラブは1982年9月25日に大阪クラブをスポンサークラブとして誕生いたしました。今月はその4周年記念日を迎える運びとなりその喜びをあらためて味わうことができますことは真に感激の至りであります。その上に大阪YMCAの100周年と時を同じくして生れ、その名も大阪センテニアルと名付けられましたことはその歴史的意義に深く感動する次第です。

しかしながら新しいクラブの誕生のかけにはその設立までのスポンサークラブをはじめ多くの先輩のワイズメンのご苦勞とお力添えがあったことを忘れてはなりません。これからも一同気持を新にして世界のワイズメンクラブの一員としての自覚と誇りをもって一つの大きな区切りである5周年に向けて前進しようではありませんか。
「大阪センテニアルクラブ 万歳」



(A) 病気の孩子にくり返しおとぎ話をきかせているアンデルセン



(B) 左側がアンデルセンの生家 つづいた右側が後年つくられた博物館

今月の聖句によせて

“コイノニア”は緊密な相互関係、交わりと一般に云われていますが、ある牧師によれば、共に福音にあずかる、共に恵みにあずかる、共に苦しみにあずかることであり、ここにキリストの血によってつくられた教会としての交わりが成り立つものであるといわれています。これがコイノニアの本質であると思われます。

ペテロが教えている一つの心になる根源は十字架のキリストを受けていることであり、それを告白することです。このような交わりを根幹としてペテロのいう同情、兄弟愛、あわれみを持ち、謙虚であることがはじめて可能であると確信いたします。

福永嘉彦

チャーター4周年記念月

9月例会プログラム

日時 9月17日(木) PM6:30~8:30
場所 大阪YMCA会館 9F

1. 開会とチャーター記念月挨拶
2. ワイズソング
3. 聖句朗読
4. ゲスト紹介
5. 食前感謝 一日々の糧を
6. 会食

司会 正司姉
森会長
一同
多田君
森会長
一同

7. “YEEPマザーを体験して”
日本区メネット事業主任 森田直子
(京都ウエスト)

アン・フォークナーを一年間娘として預った体験談によってYEEPそのものをこの月は学ぼう。

8. チャーター4周年記念ドアプライズ 掛江君
9. 誕生祝
10. 各委員報告 YMCAニュース
11. 閉会

第2例会

来年チャーター5周年を目指して準備に入ります。

例会当番 (第2班) 松本, 堀, 多田, 正司, 三瀬戸, 安福
(当番の方々は準備, あと片づけ, 受付等率先してお願いします。)

HAPPY BIRTHDAY

浦野 和子メネット
藤井 保男君

9・3
9・12 (1946)

誕生日の花 花ことば
のこぎり草 (謙虚, 沈黙)
しゅうかいどう (思慮深い)



(花ことばは講談社編からご紹介しています。)

Statistics (統計)

9月例会出席状況 (在籍会員38名)		ニコニコ 献金	B F ポイント	ファンド 8月末累計
メ ン	20名	/	8月 切手 1,548 P 現金 2,800 P	157,878 円
出席率	53%			
メネット	4名	累計 19,150 円	累計 切手 9,778 P 現金 10,560 P	
コメント	1名			
ダイジェスト	5名			
計	10名			

※ 累計4~8月。 8月号は誤りでした。

Bulletin Board

- ★ 8月の切手協力者
黒田, 河野, 鈴木, 田中, 谷川, 中村, 長安,
平田, 藤井, 森, 山田, 山村の各氏でした。
- ★ 受付ノートが時々所在不明になりました。村田以外
では書記の方管理よろしくお願いします。(村田より)

Hello!



Canadaより愛を込めて……

杉浦真喜子

ここ Canada の Alberta 州 Edmonton へやって来てそろそろ1ヶ月半がたとうとしています。うすら寒い日が多く日本の11月頃を思わせた7月に比べ、8月になった途端、Sunny Alberta にふさわしい明るく乾燥した、しかし短い夏がやって来て、Canadian Rocky へと足が動いてしまいます。しかしここでは Rocky のお話をひとまずひかえて、Edmonton のお話をしたいと思います。

半年程前の Bulletin で我が Professor Georg Kotovych のことを御紹介しましたが、今回も又御登場願うことにしましょう。彼は、その名前からお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、Ukrainian (ウクライナ人) なのです。最初にまだ Canada へ来る前に彼を知っている人から「彼は Ukrainian なんですよ」と言われた時、別に気にも止めませんでした。私は Canada へ、Canada の大学へいく、そこの Professor ならカナダ人に決まっていると、そう漠然と考えていたにすぎません。初めて会った彼は頭が少しはげ、少しお腹の出ばったおじさんで、ちゃんと英語をしゃべっていました。彼の研究室で仕事を始めて、ある時彼の Office で仕事の打ち合わせをしている時、電話がかかりました。“Hello” まではよかったのですが、その後突如彼は訳の解らない言葉をしゃべり出したのです。いかに私の英語聞き取り能力が悪くても、それが英語でないことぐらいは解りました。その時はたと思い出したのです。彼は Ukrainian だということ。後日、彼の家に招待され、彼にお似合いの気のよさそうな奥さんと、この2人からどうしてこんなかわいい子供達が…と思う程かわいい子供達に紹介されました。奥さんはペラペラと英語をしゃべります。ところが、上の小学校へ行き始めた女の子以外は英語がしゃべれないと聞いて又々私はショックを受けました。私達がいるからでしょう、夫婦は英語でしゃべっています。しかし子供達とはウクライナ語なのです。出された tablewear もウクライナ風の模様の入ったもの。ああここは Ukrainian、いや Ukrainian Canadian の家庭なのだということを知らされた次第です。

前回の時も、今回も私がいろいろお世話になっている由美子さん。彼女は日本の大学を出て、大学院からここ Alberta 大学に来て、ここで日系三世 Jim と結婚しています。彼女の御主人 Jim と一人娘 Dee ちゃんは、ちゃんと日本人の顔をしています。Jim は片ことの日本語、今6年生の Dee ちゃんにいたってはまったく日本語が話せま

せん。由美子さんによると、その Dee ちゃんも3才位までは日本語をしゃべっていたということです。ところが保育園に行き出したら、あっという間に日本語がダメになり、気がついたら英語しか話せなくなっていたとのこと。Jim も小学校へ行くまでは日本語を話していたということです。そして彼女のところでは、毎晩ちゃんと電気釜でごはんを炊いているのです。ここは Japanese Canadian の家庭なのです。

一体 Canadian、カナダ人とは何なのでしょう？ ここで会う人の多くが、自分は Scotch だ、Polish だ、Chinese だ、French だ…と紹介してくれます。でもその中の多くが又 Canadian なのです。George やその奥さん、Jim、Dee ちゃんのようにここで生れた Canadian。そして他で生れてここへやって来た Canadian。それ以外に、正式な Canadian ではないけれど、由美子さんのようにここに長く暮し、ここに根を降らそうとしている人達。Canada は人種のモザイクだと聞きました。なる程“るつぼ”ではなく“モザイク”なのです。それぞれの民族がそれぞれの文化を大事にしながら、しかも一つの国を作っているように思っています。

Edmonton では8月の第1月曜日の祭日に Heritage Festival というお祭があります。広い公園にたくさんのテントがはられ、各国(民族)のお店が出ます。Hungarian, German, Korean, 勿論 Japanese, Ukrainian, English…、世界中にこんなに多くのいろいろな民族があったのかと、驚きと感激を持って、いろいろなお店をのぞき、いろいろな食べ物を試食し、民族衣装でのダンスを楽しみます。

これこそ Canada のお祭だとうれしくなってしまう、すてきな祭なのです。

Canada は若い国です。せいぜい二、三世の世代が多いみたいです。これから世代を重ねていった時、この国はどんなになっていくのでしょうか？ いつまでもモザイクなのでしょうか？ るつぼになってしまうのでしょうか？ 私にはとっても興味あるところなのです。

さてこれはごく限られた範囲での、ほんの短期間で得た私の感想です。広い Canada 全体にこのことがあてはまるかどうか解りませんが、何はともあれ、この予断と偏見に満ちたつまらない文章を、“愛を込めて”お送りしたいと思います。

☆ 8月20日(水)第一例会

ビア・パーティ：センテニアル大いに飲む！



☆ 8月27日(水)第二例会

出席者 藤井, 真島, 平田, 鈴木, 中村, 谷川, 森,
杉本, 掛江, 多田

☆ 中西部(評議員会)会議 出席の中村君から報告。

- 6.2.1.18(回) 合同新年例会
千里山のホテルで
- 中西部次期部長に豊中クラブの小島氏に決定
- 部費の振込の未の所は早く振込を

GOINGS & COMINGS

9月9日 谷川君神戸クラブでスピーチ
(題)「国際ワイズの潮流」
日本の位置

- 88京都国際大会
神戸に於て拡大代議員会
日本区大会をせずに拡大代議員会を行う由日本区の役員会で決まる。
- A S F 特別献金の件
事業費が400万円程必要。現在200万円で大中未達。
- 中西部会 9月23日
出席者 鈴木氏2名 谷川氏 真島氏 中村氏
藤井氏 森氏 平田氏 杉本氏 山村氏
松本氏
代議員選挙 5名改選 8名立候補
立候補者
牧口(土佐堀) 宍戸(奈良)
津本(和歌山) 坂口(千里)
永田(大阪) 森本(サウス)
菊地(泉北) 堀江(堺)
- 暑中見舞のはがき) 当選番号切り取り無効
62年年賀はがき
8月30日 中西部活性委員会 平田氏出席
中西部再編成委員会に名称変更

DATES
for
MAKE-UP & FELLOWSHIP

SEPTEMBER ~ OCTOBER

DATE	例会	SCHEDULE	DATE	例会	SCHEDULE
17 WED	センテニアル①		5 SUN		
18 THU	河内, 和歌山		6 MON		
19 FRI	泉北		7 TUE	サウス	
20 SAT			8 WED	千里, 高槻	
21 SUN			9 THU	堺	
22 MON			10 FRI		
23 TUE			11 SAT	奈良, 田辺	
24 WED	センテニアル②		12 SUN		
25 THU			13 MON		
26 FRI			14 TUE	大阪	
27 SAT			15 WED		
28 SUN			16 THU		
29 MON			17 FRI		
30 TUE			18 SAT		
1 WED	枚方		19 SUN		
2 THU			20 MON		
3 FRI	長野		21 TUE	土佐堀, 豊中	
4 SAT	紀の川		22 WED	センテニアル①	

CALENDER OF EVENTS

○第36回中西部会

日時 9月23日(木) 午前10時～午後3時
(9時30分 受付開始)

会費 5,000円

会場 堺市立桐文化会館(堺市桃山台2丁2)
泉北高速鉄道(南海ナンバ駅始発)
(南海ナンバ駅始発) 梅美木多駅下車

○大阪西クラブチャーターナイト

日時 10月26日(木)午後1時～4時(12時受付開始)
会費 10,000円 コメット 5,000円
会場 梅田阪急百貨店 8F 特別食堂

○第42回日本区大会

日時 1987年6月6日(土)～7日(日)
会場 サンルートプラザ東京
— ディズニールランドのとなりのホテル
ホスト 東京江東クラブ

YMCA TODAY



世界の国、生活と文化シリーズ

9月26日(金) マレーシア

10月17日(金) デンマーク

恒例の世界の国、生活と文化シリーズは国際文化センター9階で夜6時30分より開かれます。

ミュージックサロン

インド音楽と踊りの夕べ

世界的に有名なジョルシャゴール、シタール、タブラなどたっぷりインドの音楽を楽しんで下さい。

10月13日(木) 夜6時30分開演

大阪YMCA会館ホール

前売券 1,800円

<<予 告>>

ファミリー国際クリスマスは12月12日(金)に決定

昨年350名を集め、ペルー、インドネシア、韓国、フィリピン、スリランカ、アメリカなどの人たちが料理、音楽など楽しいクリスマスをもちましたが、今年もさらに多くの外国のお友達をむかえ料理に音楽に親しんで下さい。

堂島の牽仕センター3階にYMCAランゲージセンター開設

大阪YMCAの語学教育特に英語、英会話は長年の実績と伝統があります。

— 今秋、堂島グランドビル3階100坪を借り、「YMCAランゲージセンター」を開設します。

ぜひ、お友だちにもおさそい下さい。

好評のアジア、アフリカ語教室、外国人のための日本語学校も秋期生募集中です。

THE CENTENNIAL

IBC WORLD NETWORK



紫荊聯青社 Y'S MEN'S CLUB OF BAUHINIA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

香港ボヒニアクラブの新会長！



C. K. Thomas さんからの書状のあらまし (鈴木君より)

去る5月21日、私のBF訪問旅行の中程のところ、センテニアル例会に招かれ私のクラブ、エルナクラムとのIBC友好文書の署名役ができましたことは、私にとってこの上ない名誉だったと考えています。貴クラブのリーダー達の優れた協力や準備には強い印象をうけました。メネットクラブの皆さんにお会いできたことを喜んでおります。言語の障壁はいたし方ありませんでしたが、あの夕べの素晴らしい食事の用意を全部メネットさんがなされたことに似せて私のクラブでも毎例会ごとにディナーは最近メネットクラブが作っています。

5月21日の夜、中之島インの宿泊は快適でありました。山田会長、森次期会長、堀IBC委員長にお礼申し上げます。特に堀さんにはご家庭の不幸があったときにも不拘、会社の職員の方がいろいろお世話を頂き、翌日は、民族博物館や万博公園をご案内下さってほんとによかったと思います。見たいと思っていましたこの二つの場所が視察できてありがとうございます。堀さんのご配慮を感謝します。

私に就て土佐クラブの歓迎会において、又貴クラブの例会において、鈴木さんのあたゝかい言葉による紹介と歓迎を感謝を以て思い出しています。センテニアルから



NUUANU Y'S UP

NUUANU Y'S MEN'S CLUB NEWSLETTER
1441 PALE IKAU, - HONOLULU, HI 96813

"To Acknowledge The Duty That Accompanies Every Right"

AUGUST 1986
VOLUME XII
ISSUE 3

BROTHER CLUB UPDATE

KAN TANIKAWA writes recalling their visit to the 50th State last summer. KAN expressed appreciation of the hospitality extended for the homestays, sightseeing tours provided, and the social activities held in their behalf by the Club.

Regarding the formulation of the triangular tie between the Osaka Centennial Y's Men's Club, Nuuanu Y's Men's Club, and the Bauhinia Y's Men's Club of Hong Kong, KAN informed that he has not heard further on the subject matter and awaiting word from the Hong Kong Club.

Regarding the 1988 Kyoto International Convention, KAN writes that he is one of the host convention committee's deputy chairmen, and advised that all Nuuanu Y's Men are invited. KAN also expressed that members from the Bauhinian Club will be attending, and that, perhaps, the triangular tie could be established at that convention.

香港ボヒニアクラブの新しい会長に PEGGY SHUM さんがなったことを報告しましたが、左の写真は今年三月の CHARITY BALL の際独唱している時の彼女の姿です。想い出す人もおありでしょう。

頂いた記念アルバムはわがクラブ会長に手渡しました。これは双方クラブ友好の良き記録に長く役立つと思います。わがクラブメンバーはともうれしく思っています。去る6月7、8両日、インドエリヤとインド西区との合同大会が、こちらから80キロメートルのトリチュールで行われ、私も出席できました。出席800人、私のクラブ会長Sonny Eipeは当年度の最優秀クラブ会長に選ばれました。又私のクラブは区の中の9つの優秀クラブの一つに表彰されました。私の方の今年度の新会長の名前と住所は次の通りです。

Ym, MATHEWS JACOB

61 HOUSING BOARD COHONY,
PANAMPILLY NAGAR, COCHIN - 16

です。

私は現国際会長の指示によって国際切手サービス主任になりました。日本の福尾さんの協力もえて、この仕事で貢献したいと思っています。大阪センテニアルの全会員に対して私の家族からもご挨拶を送ります。

シー・ゲー・トマス

因みに、トマス君から鈴木宛に便途トマスとインドキリスト教会史の本を贈ってきました。

Y'S MENETTES & Y'S LINGS

メネットとコメット

「アンデルセンは切り絵の名人」

アンデルセンのふる里，オーデンセを訪ねて

谷川 有美子

国際大会中アンデルセンのふる里，オーデンセを訪れる機会がありました。アンデルセンはこゝで14才まで生活しました。貧しい靴職人の子として生まれましたが，少年の頃から何とかして名を成し遂げたいと考え，コペンハーゲンに出てきました。ここで富豪の人々と出会い，やっと教育を受けることができました。最初は演劇人になりたいと思い舞台に立ちました。何回も挑戦しましたが失敗でした。

傷心の彼は上流階級の子供達にせがまれて，自分の書いた御噺話を毎日読んであげるようになりました。そして，このことに喜びを見出す様になります。この絵(1頁，A)は彼が病気の子供に御噺話をきかせているところです。このことがだんだん評判になって，新しい話を書く様になりました。そして近隣の国だけでなく，だんだん世界へと広がり彼の話の外国版が出るようになりました。この頃から彼自身“自分はデンマークにとって国が誇れる人物になるだろう”と予言していました。

アンデルセンの生家は小さな部屋が幾つかある天井の低い家でした。(1頁，B)(写真左側小窓のある家。つづいて右側は博物館)後年作られた博物館の中に図書室があります。そこには，世界各地で読まれているアンデルセン童話集がずらりと並んでいます。日本語版の童話集も新旧沢山並んでいました。アンデルセンといえば“みにくいあひるの子”などの童話が有名ですが，“切り絵の名人”であったことを今度始めて知りました。細かい左右対称の切り絵(C)，御噺話の挿し絵にぴったりのかわいい切り絵です。(D)。彼自身の作った切り絵が沢山展示されていました。

オーデンセは童話の世界そのままの美しい家々が並んでいます。オーデンセの美しい田園風景の広がりを見ていますと，アンデルセンの童話が浮かんできます。メルヘンの世界へ誘われるようです。このロマン主義作家、アンデルセンの影響を受けた当時の画家たちが沢山の風景画などの絵を残しています。

大会最後の日のディナーテーブルには，毛糸で作った小さな真白な白鳥がのっていました。デンマークワイズメネット手作りのおみやげでした。“みにくいあひるの子”(E)の小さい本といっしょでした。

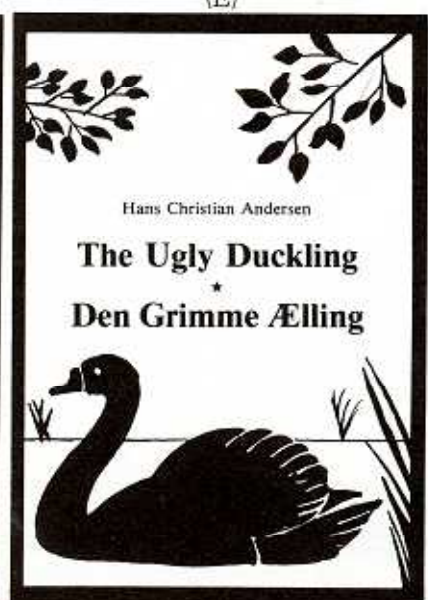
(C)



(D)



(E)





子供と遊びについての雑感

掛 江 康 一

8月初旬に岡本教会教会学校のキャンプが行われました。私は中学3年生を受け持っていますので、中学生のキャンプに参加しました。そこで遊びについて感じたことを少し述べてみましょう。

最近の子供は外で遊ばなくなったといわれます。遊び下手ともいわれます。確かに教会学校(以下CS)のいろいろな行事でゲームをこちらが提供しても、もひとつ盛り上がりがないということ(つまりしらけている)が結構あります。子供を乗せるのが大変で、リーダーである私の力不足を痛切に感じるわけですが、先日ある本で子供の遊びについての分析を読んだとき目の前の霧が少し晴れてきたように思いました。オランダのヨハン・ホイジンガの説を紹介しているその本によると、遊びには三つの要素があるということです。

1. 自発的にやるものだということ
2. 何か成果を期待してやるような手段ではなくして、遊びそのものが目的であること。
3. 日常生活とは「別のもの」、独特のルールによって秩序だてられた別世界への突出こそが遊びである。

(齊藤次郎著「ああファミコン現象」岩波ブックレットNo.61)
大人が用意したものは子供にとって受け身の遊びですから、そうそう興味を示してくれません。ましてや、そこに教育的な成果を期待したりすると、子供たちは直感的に拒否反応を示すのです。子供たちの遊び心を刺激し、子供たちが自発的に遊ぶようにしなければならぬといえます。しかも成果を期待せず、非日常的であれば申し分ないといえます。

今回のキャンプでは計画を作るときから子供たちの意見を聞きました。そうすると「もっと自由時間を」との注文です。そこで比較的多くの自由時間を設けて、どう使うのかと観察していると、彼らは与えられた自由時間

全てをトランプ(「大富豪」というゲーム)に費やしました。自然の中で寸暇を惜しんでトランプをしていました。これは遊びの三要素に合っていたわけです。自然の中に来たのだから自然を活かした遊びをしようというのは大人の押しつけなのです。彼らが自然を活かして遊び始めたのは、彼らの興味が自然に向いてからでした。

さて、次にしたいと子供たちが言ったのはオリエンテーリングと木を使った製作でした。オリエンテーリングは3チームでスタートしましたが、地図が読めて、時間内に帰ってきたのは1チームだけで、全くポストを発見できなかったチームもありました(先生も一緒になって一生懸命走り回ったそうですが)。しかし、彼らみんなが大変楽しかったと目を輝かしていました。彼らにとって、野山を走り回ることが遊びとなり、ポストを発見できない問題はなかったようです。

さて次は製作ですが、一本の木からテーブルを作りました。直径15cm長さ60cmの丸太3本を鋸で縦に切り分けました。2~3時間かかる気の遠くなるような作業を、子供たちは信じられないような熱意でやり遂げました。あと少しで切り離せるというときは、もうお祭り騒ぎです。まわりでワイワイはやしなが作業していました。できたテーブルというのは結果であって、木を切ることに子供たちは遊びを見出しているのです。

子供を遊ばせようとするならば、遊びたいという気持ちをうまく活用することが大事です。そのためには遊ぶ計画を子供たちに作らせることが最も効果的です。また遊ばせようと考えずに、むしろ大人も子供になって徹底的に楽しんだほうが良いようです。

与える遊びではなく自分たちが作る遊びを、管理する立場で遊ばせるのではなくて共に遊ぶこと、この大切さを知らされた今年の夏のキャンプでした。

1986~1987 役員 (Officers)

会 長	森 庄司	担当主事	眞嶋 克成
副会長	藤井 保男	幹 事	杉本恭之助
"	平田 雅利	"	中村 隆幸
書 記	松本 常晃	"	山田 孝彦
"	多田 幸子	直前会長	山田 孝彦
会 計	山村 幸明		

事業委員会 (○は委員長)

BF	○山田, 多田, 柴田, 皆本, 桂
YEEP	○山中, 山村, 森
ASF, YMCA	○田中, 黒田, 安福
IBC	○堀, 松添, 横山, 杉浦, 阪田
Bulletin	○村田, 谷川, 福永
CS	○中村, 上月, 川越, 瀬戸
Program	○鈴木, 谷川, 長安, 村田, 杉浦
EMC	○河野, 掛江, 杉本, 中川
Fund	○平田, 浦野, 藤井, 照尾
Driver	○藤本, 杉本, 小林
MET	○正司, 福永
Menettes	○森

EDITOR'S NOTE WA I ZU MAN 和井寿 満のひとりごと

- ★10月号の寄稿を次の方をお願いします。
今月のことば 800字以内 藤井副会長に
HELLO! 1600字以内 眞島主事に
メネットとコメント 1000字以内 杉本メネットに
風響樹(ぼぶら) 1200字以内 多田姉に
その他積極的に投稿下さいませように。
- ★最近ひまをつくっては低山徘徊しています。といっても六甲山をホームグラウンドにしていますが、芦尾ロックガーデン経由、みかげ寒山道経由、布引の流から森林公園、再度山などそれぞれに良さがありくめどもつきせぬ奥行き深い山だなと感じます。
- ★ブリテンの印刷は洛陽印刷でお世話になっていますが、社長みずから打合せに来て下さいます。社長の名は岡本さん(日本区書記)(京都キャピタル)です。いつも'88の京都世界大会のことを考えておられます。祈りましょう。

(ブリテン 村田貞夫 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305)
担 当 TEL 0797-32-9204